

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成25年8月15日(2013.8.15)

【公開番号】特開2013-131803(P2013-131803A)

【公開日】平成25年7月4日(2013.7.4)

【年通号数】公開・登録公報2013-035

【出願番号】特願2011-277953(P2011-277953)

【国際特許分類】

H 03 F 3/24 (2006.01)

【F I】

H 03 F 3/24

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月14日(2013.5.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0096

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0096】

また図1に示した出力整合回路(OMN)12において、出力整合回路(OMN)12の入力端子と中間タップと出力端子にそれぞれ接続される高調波成分終端回路は、2次高調波成分終端回路2HD_Tと3次高調波成分終端回路3HD_Tと4次高調波成分終端回路4HD_Tの順序にのみ限定されるものではない。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0099

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0099】

また更に、電力検出回路の小型化と電力検出回路の高精度化とを目的とするならば、図3に示したデュプレクサ3を使用しない場合には、高調波検出回路(2HD_Det)14が接続される出力整合回路(OMN)12の接続個所は、出力整合回路(OMN)12の入力端子と中間タップと出力端子のいずれかとすることが可能となる。もし、高調波検出回路(2HD_Det)14が接続される出力整合回路(OMN)12の接続個所を出力整合回路(OMN)12の出力端子としたとすると、高調波検出回路(2HD_Det)14と検出回路(DET)13とで生成される2次高調波信号成分の検出電圧V_{det}に大きな信号レベルの反射波信号の高調波信号成分の影響が含まれるものとなる。